

日本気象学会 2001年秋季大会

会期 : 2001年10月10日(水)～12日(金)

会場 : 岐阜県民文化ホール未来会館(岐阜市学園町3-42)

大会実行委員会担当機関: 名古屋地方気象台, 岐阜地方気象台,
名古屋大学地球水循環研究センター,
名古屋大学大学院環境学研究科,
愛知教育大学教育学部, 岐阜大学工学部,
(財)日本気象協会東海支社

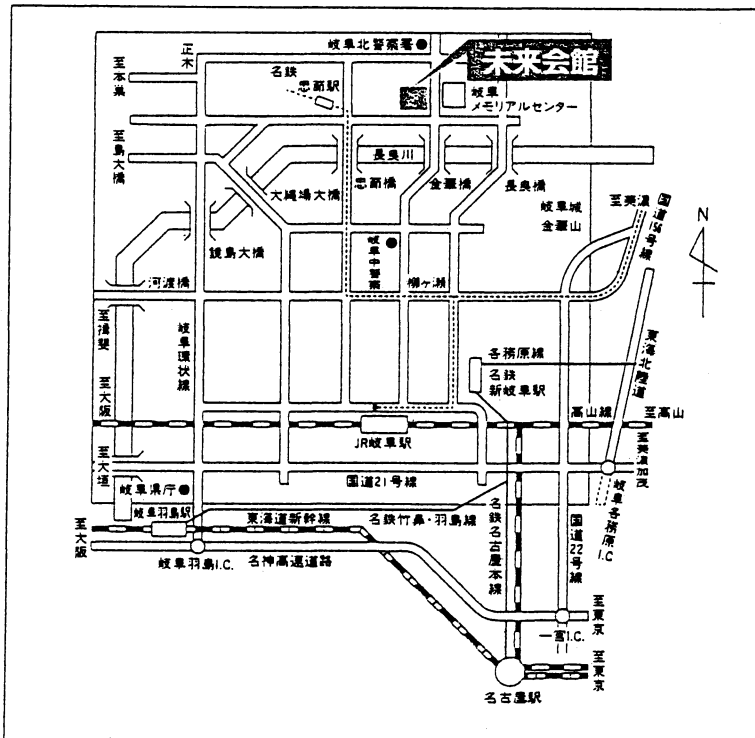
大会実行委員長 : 白木正規(名古屋地方気象台)

当日の会場への連絡方法: 大会実行委員会事務局
(未来会館5階小会議室1,2)
電話(兼FAX) 058-231-8962

交通:

- (1) JR名古屋駅～JR岐阜駅
 - JR快速で岐阜駅まで所要時間20分(15分毎)
 - 名鉄特急で新名古屋駅(JR名古屋駅に隣接)から新岐阜駅(JR岐阜駅まで100m)まで所要時間27分(15分毎)
- (2) 名古屋空港～名鉄新岐阜駅(JR岐阜駅まで100m)
 - 岐阜バスで名鉄新岐阜駅まで所要時間1時間～1時間10分(30分毎)
- (3) JR岐阜駅～会場(バス)
 - 往路: 13番(三田洞行き)または111番(長良線循環)で「メモリアルセンター正門前」下車,徒歩1分
 - 復路: 「メモリアルセンター正門前」から101番または111番
(岐阜市内のバスの問い合わせ: 岐阜市交通部: 電話058-234-1166)

会場案内図



大会行事予定

A会場 : 長良川ホール (2階)
 B会場 : ハイビジョンホール (3階)
 C会場 : 大会議室 (5階)
 D会場 : レセプションホール (6階)
 ポスター会場 : 企画展示室 (2階)

シンポジウム・各賞授与式会場 : 長良川ホール (2階)

受付 : ホワイエ (2階ロビー)
 大会事務局 : 小会議室(1), (2) (5階)
 懇親会 : レセプションホール (6階)

() は講演数, - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月10日 (水)	09:30 ~ 12:00	降水システム I (13, A101 ~ A113) - 楠 研 -	気候システム I (13, B101 ~ B113) - 富田智彦 -	ACE-Asia/TRACE-P I (13, C101 ~ C113) - 植松光夫 - - 河村公隆 -	大気力学 I (13, D101 ~ D113) - 松田佳久 -
	13:30 ~ 16:00	降水システム II (13, A151 ~ A163) - 橋口浩之 -	気候システム II (12, B151 ~ B162) - 植田宏昭 -	ACE-Asia/TRACE-P II (14, C151 ~ C164) - 近藤 豊 - - 日暮明子 -	中層大気 (11, D151 ~ D161) - 河本 望 -
	16:10 ~ 17:30	ポスター・セッション (A,B 会場で概要紹介後, ポスター会場で講演) A会場(32,P101 ~ P132) - 住 明正 - B会場(33,P133 ~ P165) - 平沢尚彦 -			
10月11日 (木)	09:30 ~ 12:00	降水システム III (13, A201 ~ A213) - 山田広幸 -	熱帯大気 I (13, B201 ~ B213) - 松山 洋 -	物質循環 (13, C201 ~ C213) - 川上修司 -	放射 (6, D201 ~ D206) - 藤本敏文 - 大気境界層 (8, D207 ~ D214) - 大和田道雄 -
	13:30 ~ 15:30	山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与 山本正野論文賞・堀内賞記念講演			
	15:40 ~ 15:55	「岐阜県地域気象教育プロジェクト」紹介			
	16:00 ~ 18:00	シンポジウム「東海豪雨—自然、都市、人間の関わり—」 司会 : 田中 浩 基調講演 : 渡辺真二, 金田幸恵, 加藤輝之, 河田恵昭, 沖 大幹			
	18:30 ~ 20:00	懇親会			
	10月12日 (金)	09:30 ~ 11:00	降水システム IV (7, A301 ~ A307) - 久芳奈遠美 -	気候システム III (8, B301 ~ B308) - 加藤内蔵進 -	環境気象 (8, C301 ~ C308) - 福山 薫 -
11:10 ~ 12:30		ポスター・セッション (A,B 会場で概要紹介後, ポスター会場で講演) A会場(33,P301 ~ P333) - 田中 博 - B会場(32,P334 ~ P365) - 野沢 徹 -			
14:00 ~ 17:30		熱帯大気 II (17, A351 ~ A367) - 西 憲敬 - - 立花義裕 -	気候システム IV (18, B351 ~ B368) - 加藤央之 - - 江守正多 -	観測手法 (18, C351 ~ C368) - 真木雅之 -	気象教育・気象予報 (14, D351 ~ D364) - 室井ちあし -

発表件数 : 382 件 (口頭発表 252, ポスター 130)

口頭発表の講演・質疑時間 : 7 分と 3 分

大会参加費 : 郵便振替による前納の場合 一般会員 2,000 円, 学生会員 1,000 円 ;
 当日受付の場合は 一般会員 3,000 円, 学生会員 2,000 円, 非会員 3,000 円。
 懇親会費 : 郵便振替による前納の場合 一般会員 4,500 円, 学生会員 3,500 円 ;
 当日払いの場合は 一般会員 5,500 円, 学生会員 4,500 円, 非会員 5,500 円。

大会当日は混雑しますので, 極力前納されるようお願いいたします。
 なお郵便振替用紙は「天気」6月号の末尾に挿入されたものを使い, 9月26日までに振り込んで下さい。

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には, 日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は, 利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは, 〒305-0052 茨城県つくば市長峰 1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail:org-msj@mri-jma.go.jp)まで。

講演の方法

口頭発表

口頭発表の一人当たりの発表時間は、全時間を申込件数で等分したものを目安として講演企画委員会が決定することになっています。今回については、**講演時間を7分・質疑時間を3分**といたしますのでよろしくお願いします。

ポスター発表

- ・A または B 会場で概要紹介(1件 30秒以内)の後、ポスター会場で講演を行います。講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい
- ・ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、幅 0.9 m × 高さ 2.0 m となっています。ポスターの掲示の際、画紙・ピンが使用可能です。これらは各自で用意して下さい。
- ・ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。
 - 第 1 日の発表者は 10/10 09:15 - 10/11 12:30
 - 第 3 日の発表者は 10/11 12:30 - 10/12 15:00

機器の使用について

- ・全ての口頭発表会場(ポスター概要紹介を含む)で OHP が使用できます。
- ・OHP 以外の機器(PC プロジェクター、スライド)は、講演申込時に使用する旨を届け出ている講演者ののみが使用できます。
- ・PC プロジェクターを使用する際は予め以下の点をご了承ください。
 - パソコンは各自で持参して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備し、パソコンは用意しません。
 - 接続の確認は休み時間などを利用して講演者の責任で行って下さい。なお、接続に要する時間も講演時間に含まれますので、そのつもりで準備して置いてください
 - 突然の故障や接続ができないなどのトラブルが発生した場合も考慮して、最低限の発表が出来るだけの OHP シートも用意しておいてください。トラブルが生じて講演が不可能になった場合、実行委員会および講演企画委員会は一切の責任を負いません。

シンポジウム「東海豪雨－自然、都市、人間の関わり－」

日時：大会第 2 日(10 月 11 日) 16:00～18:00

会場：長良川ホール(岐阜県民文化ホール未来会館 2 階)

司会：田中 浩(名古屋大学大学院環境学研究所)

趣旨

平成 12 年 9 月 11 日の豪雨は「東海豪雨」と命名され、その記録的降水量のため名古屋とその周辺域で洪水による大きな被害が発生した。このシンポジウムでは、東海豪雨のメソ気象学的状況の解明、洪水被害の実態が報告され、都市における水と人間の関わりについての試論が提出される。

基調講演

- ・「東海豪雨の観測と解析」 渡辺真二(名古屋地方気象台)
- ・「東海豪雨のメカニズム」 金田幸恵(名古屋大学地球水循環研究センター)
- ・「集中豪雨のモデルと予測(数値実験によるアプローチ)」 加藤輝之(気象研究所)
- ・「東海豪雨災害と新たな防災課題」 河田恵昭(京都大学防災研究所)
- ・「洪水と水害－自然と人との関わりに関する今後の学術展望－」 沖 大幹(東京大学生産技術研究所)

総合討論

「岐阜県地域気象教育プロジェクト」紹介

日時：大会第 2 日(10 月 11 日) 15:40～15:55

会場：長良川ホール(岐阜県民文化ホール未来会館 2 階)

紹介者：下山紀夫(岐阜地方気象台)

概要：

岐阜地方気象台では岐阜県教育委員会の協力を得て、2001 年 9 月から地域気象教育プロジェクト「e-気象台 & “こんにちは予報官”」を開始した。このプロジェクトは、学校での理科離れが言われているなか、小中学生が気象をより身近なものとして捉え、気象の知識や防災の重要性を実践的に身につけることを目的とし、インターネットホームページと、学校現場へ出向いて授業を行うことを組み合わせたプロジェクトである。気象専門家の気象台と教育専門家の教育委員会が協力して行うことに特徴がある。プロジェクトの概要とこれまでに寄せられた児童・生徒等からの反応について紹介する。

※ 「e-気象台」の URL は <http://www.gcc.gifu.gifu.jp/kyoukaHP/kishou/>

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第18回メソ気象研究会

日時：2001年10月9日(火) (大会前日) 14:00-17:00

場所：名古屋大学地球水循環研究センター大講義室(本館3階)

(会場までのアクセスは <http://www.ihas.nagoya-u.ac.jp/hyarc/index-jpn.html> をご覧下さい)

テーマ：「竜巻とスーパーセル」

世話人：吉崎正憲 (気象研), 坪木和久(名大地球水循環研究センター), 小倉義光 (日本気象協会)

コンビーナー：新野 宏 (東大海洋研)

TEL: 03-5351-6424, FAX: 03-3377-3395, Email: niino@ori.u-tokyo.ac.jp

講演者(所属), 演題：

- 1) Dr. Joshua Wurman (オクラホマ大・気象学教室) : Dual-Doppler analyses of two tornadoes and another multiple-vortex tornado (仮題)
- 2) 成田 修 (東京管区気象台) : 1999年9月24日に愛知県で発生した竜巻
- 3) 吉野 純 (京大・防災研) : 台風9918号のアウトターレインバンド内で発生した竜巻について
- 4) 坪木和久 (名大・地球水循環研究センター) : 1999年9月24日の東海地方の竜巻をもたらしめたメソサイクロンのドップラーレーダー観測と竜巻のシミュレーション実験
- 5) 小林文明 (防衛大) : 降雪雲に伴う竜巻
- 6) 野田 暁 (東大・海洋研) : スーパーセルの気流構造と鉛直渦度の形成機構

詳細なプログラムが決定次第, <http://sea3.ori.u-tokyo.ac.jp/~niino/meso.htm> に掲載します。

オゾン研究連絡会

日時：2001年10月10日(水) セッション終了次第2時間程度

場所：未来会館5F大会議室(大会C会場)

内容：7月のオーストラリアでのIAMAS会議と10月のフランスでのNDSCシンポジウム参加報告を数名の院生・若手研究者に行なっていただきます。大気化学・力学研究の現状と方向性を議論できればと思っています。関心のあるかたは是非ご参加願います。

世話人：笠井康子(通総研), 川上修司, 河本望 (NASDA/EORC), 杉田考史 (環境研), 村田功 (東北大)

連絡先：村田 功 (東北大)

TEL: 022-217-5776, FAX: 022-217-5775, E-mail: murata@pat.geophys.tohoku.ac.jp

気象教育研究連絡会

テーマ：岐阜県地域気象教育プロジェクト

日時：2001年10月12日(金) 18:00～20:00

場所：未来会館5F大会議室(大会C会場)

概要：岐阜地方気象台では岐阜県教育委員会の協力を得て、インターネットを利用した気象教育プロジェクト「e-気象台&"こんにちは予報官"」を開始しました (<http://www.gec.gifu.gifu.jp/kyoukaHP/kishou/>)。教育の現場ではインターネットを利用した教育が多く取り込まれようとしています。岐阜地方気象台が実施しているプロジェクトを例に、今後の理科(地学)、特に気象分野におけるインターネット利用の教育について討論を行います。関心のある方は奮って参加してください。

話題提供者：未定

担当：林 広樹 (岐阜地方気象台)

TEL: 058-271-4108, FAX: 058-278-1633, E-mail: h-hayashi@met.kishou.go.jp

北島尚子 (気象研究所)

極域・寒冷域研究連絡会

日時：2001年10月12日（金）17:45～2時間程度

場所：未来会館 3F ハイビジョンホール(大会 B 会場)

話題：

1. 南極第6期観測開始にあたって

「5ヶ年計画の概要と南極へのアクセス方法の新展開」

平沢尚彦（国立極地研究所）

2. GAME/Siberia から見るシベリアの水循環

「GAME/Siberia の概要」

「東シベリア・カラマツ林での熱・水循環の年々変動とカラマツ, アカマツ林での熱収支特性の相違」

太田岳史（名古屋大学生命農学研究科）

「1次元モデルによるエネルギー・水交換の推定と考察」

山崎 剛（東北大学大学院理学研究科）

「航空機観測から得られた東シベリアの大気境界層構造の季節変動」

檜山哲哉（名古屋大学地球水循環研究センター）

「水同位体比から見た東シベリアの水循環」

杉本敦子（京大学生態学研究センター）

代 表：木村龍治（東大海洋研）

世話人：平沢尚彦（国立極地研）、中村尚（東大理学部）、浮田甚郎（NASA）、高田久美子（地球フロンティア）、

阿部彩子（東大気候システム）、佐藤薫（国立極地研）、本田明治（地球フロンティア）

問い合わせ先：本田明治（地球フロンティア）

TEL: 045-778-5514, FAX: 045-778-5707, E-mail: meiji@jamstec.go.jp

第21回 IGBP/GAIM 研究会

日時：2001年10月13日（土）（大会翌日）午前中

場所：岐阜キャッスルホテル

〒500-8176 岐阜市県町 2-8, TEL: 058-266-7111 名鉄新岐阜駅から徒歩1分 J R岐阜駅から徒歩5分

内容：招待講演および一般講演

世話人：末田達彦（愛媛大・農学部）、馬淵和雄（気象研・環境応用）

※研究会のプログラムなど詳細については、気象学会会場に掲示予定。

長良川鶺鴒のご案内

「おもしろうて やがて悲しき 鶺鴒かな」と芭蕉も詠んだ鶺鴒。日本における鶺鴒の歴史はきわめて古く、日本書紀、古事記にもその記述が見られます。長良川の鶺鴒は、およそ1300年の歴史があり岐阜の夏の風物詩として受け継がれて来ました。織田信長が「鶺鴒」という地位を与え、明治23年からは鶺鴒匠に宮内省式部職という位が授けられ、その伝統が守り続けられ、今日の鶺鴒は「芸術」まで高められて来ました。伝統装束に身を包んだ鶺鴒匠が「ほうほう」と声をかけながら鶺鴒を自在に操って鮎を狩る様は、見る人を幽玄の世界へと誘います。この長良川鶺鴒は10月15日まで行われています。料金は1人3,300円、弁当、飲み物を各自持参して乗船します。鶺鴒の申し込みは予約制になっていますが、船の出る（日没時）直前でもできます。大会会場になっている未来会館のレストランで弁当の予約は可能です。

研究発表終了後のひととき日本の伝統文化、長良川鶺鴒を楽しみませんか。大会受付にて相談受け付けます。

春季大会の予告

2002年度春季大会は、2002年5月22日(水)～24日(金)に大宮ソニックシティで開催されます。大会告示は「天気」12月号に掲載します。この大会は、ポスター発表を中心として一部口頭による一般発表と特定のテーマに基づく専門分科会とから構成されます。発表方法は講演申込時に選択できるようにしますが、必ずしも希望通りにはならない可能性があります。春季大会の発表申し込み締め切りは2002年2月上旬頃となる予定です。

大会第1日〔10月10日〕 A会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

午後(13:30 ~ 16:00)

降水システム I

座長：楠 研一(気象研)

- A101 吉崎正憲・永戸久喜(気象研)他 WMO-01(冬季日本海メソ対流系観測-2001)期間の日本海における熱・水収支 [P]
- A102 村上正隆・星本みずほ(気象研)他 航空機による日本海収束帯帯状雲の内部構造観測
- A103 杉本ゆかり・小林文明(防大地球科学)他 2001年1月15日に北陸沿岸で観測された渦状エコーの構造
- A104 大東忠保・坪木和久(名大地球水循環)他 6名 陸風により形成された停滞する2本の降雪バンド [P]
- A105 永戸久喜・加藤輝之(気象研)他 2001年1月16日に上越地方沿岸で観測された線状降雪システムの発生環境
- A106 林修吾・吉崎正憲(気象研)他 2001年1月27日に日本海を通過した小低気圧(その1) - その構造と数値モデルによる再現 - [P]
- A107 長谷川晃一・坪木和久(名大地球水循環)他 北陸沖の収束帯に見られたメソβスケールの渦状擾乱の三次元構造 [P]
- A108 大久保篤(富山地方気象台)・WMO-01 観測グループ 日本海寒帯気団収束帯とは別のシア・ラインに伴う富山県海岸部での大雪~ 2001年1月15日~16日のWMO-01 観測資料による事例解析~
- A109 村上正隆(気象研)・小池克征(国土環境)他 5名 山岳性降雪雲の人工調節に関する数値実験(2)
- A110 村上正隆(気象研)・池田明弘(国土環境)他 5名 山岳性降雪雲の観測車による移動観測(その2)
- A111 村上正隆(気象研)・伍井稔(国土環境)他 5名 三国山脈周辺の降雪分布
- A112 楠研一・折笠成宏(気象研)他 6名 冬季越後山脈における降雪雲の統計的特徴 - 山脈風上における地形効果 -
- A113 折笠成宏・村上正隆(気象研)他 5名 POSSを用いた観測出力アルゴリズムの開発

降水システム II

座長：橋口浩之(京大宙空電波)

- A151 篠田太郎・上田博(名大地球水循環)他 8名 二重偏波レーダーシステムによる降水粒子識別方法検討のための観粒子地上観測(その2)
- A152 青梨和正・小司楨教(気象研)他 4名 若狭湾特別観測の天気、雲物理量とマイクロ波輝度温度の比較(その1) [P]
- A153 植松明久・橋口浩之(京大宙空電波)他 ミリ波ドップラーレーダーによる釧路の霧の観測
- A154 和田英子・橋口浩之(京大宙空電波)他 3名 ミリ波ドップラーレーダーによる雲の観測
- A155 千葉ゆきこ・播磨屋敏生(北大院理)他 3名 Kaバンドレーダーを用いた雲水量鉛直プロファイルのリトリバー
- A156 手柴充博・橋口浩之(京大宙空電波)他 3名 ミリ波ドップラーレーダーで観測された三次盆地における霧の内部構造(2) [P]
- A157 岩田徹(岡山大環境理工)・寺尾徹(大阪学院大情報)他 5名 盆地霧の霧層内でみられた対流現象(2)
- A158 真野裕三・赤枝健治(気象研)他 釧路沖の海霧の衛星リモートセンシング
- A159 佐野哲也・坪木和久(名大地球水循環)他 8名 夏季に山地と平野の境界で発達した積乱雲の内部構造と時間変化 [P]
- A160 小林文明・稲富成子(防大地球科学) 東京都心周辺における夏季積乱雲ファーストエコーの出現特性
- A161 岩崎博之(群馬大教育) 谷川岳における積乱雲の急発達と数時間スケールの水蒸気変動
- A162 金井秀元・新野宏(東大海洋研)他 2名 1999年10月27日の低気圧に伴う関東地方東部の大雨(その4) - 数値シミュレーションを用いた現象の理解 -
- A163 藤部文昭(気象研)・坂上公平(東京管区気象台)他 2名 東京23区の短時間強雨に先立つ局地風系の特徴

大会第1日〔10月10日〕 B会場

()は講演者を表す

午前(09:30 ~ 12:00)

午後(13:30 ~ 16:00)

気候システム I

座長：富田智彦(地球フロンティア)

- B101 小木雅世(北大院地球環境)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他2名 オホーツク海の海水を支配しているものはいったい何?!
- B102 木村明明(NASDA/EORC) 冬期北極海の海水/海洋循環の年々変動
- B103 田中博(筑波大地球科学)・岡田亮(筑波大生命環境) 順庄大気大循環モデルによる北極振動(AO)の数値実験
- B104 黒田友二・小寺邦彦(気象研) 極夜ジェット振動と円環モードの関係
- B105 平沢尚彦(極地研)・中村尚(東大理/地球フロンティア)他1名 冬季南極域のブロッキングに関与したロスビー波の励起源に関する考察
- B106 本田明治(地球フロンティア)・中村尚(地球フロンティア/東大理) 下部成層圏循環におけるアリュージェン低気圧-アイスランド低気圧シーソーのふるまい
- B107 山根省三・本田明治(地球フロンティア)他1名 再解析データと数値実験に見られるアリュージェン低気圧-アイスランド低気圧シーソーとその10年規模の変調について
- B108 小寺邦彦(気象研) ユーラシアの昇温と北大西洋振動
- B109 和智崇晃(九大院総理工)・和方吉信(九大応力研) 海面水温により駆動した大気大循環モデルに見られる数十年スケール変動について
- B110 久保田拓志(京大院理)・寺尾徹(大阪学院大情報) 熱帯対流圏温度場の持続性に関する十年規模変動
- B111 高野清治・小林ちあき(気象研)他2名 ENSOの日本への影響の予測可能性(冬)
- B112 植田宏昭(気象研)・川村隆一(富山大理) 中緯度北西太平洋上の高海面水温偏差の出現 - 3年連続の暑夏とアジアモンスーンとの関係 -
- B113 江川晋子・石渡正樹(北大院地球環境) 夏季アジアモンスーンの先行シグナルに関する考察

気候システム II

座長：植田宏昭(気象研)

- B151 時長宏樹・谷本陽一(北大院地球環境) インド洋ダイポールモード現象とエルニーニョ/南方振動との独立性の検証
- B152 植田宏昭(気象研) 赤道モンスーン
- B153 川村隆一(富山大理)・松浦知徳(防災科研)他1名 夏季アジアモンスーンと ENSO のカップリングのメカニズム その4 - ENSO の数十年スケール変動との関連 -
- B154 高藪縁(東大気候システム)・Hengyi Weng(BBSR) ENSOと南アジアモンスーンを結ぶもの: PartII 東西南風鉛直シアの役割
- B155 木口雅司・松本淳(東大院理) タイ内陸部における雨季のオンセットのメカニズム
- B156 高橋里枝・松本淳(東大院理)他4名 バングラデシュにおける夏季モンスーン期の降水の季節内変動
- B157 水越允治(皇学館大) 過去約600年間の中央日本における梅雨の特性
- B158 二宮洸三・西村照幸(地球フロンティア)他3名 大気気候モデル T42L52 における梅雨前線
- B159 富田智彦・吉兼隆生(地球フロンティア)他1名 梅雨前線の南北分布の経年変動特性
- B160 永野良紀(日大院)・山川修治(日大文理) 梅雨前線による豪雨と大気大循環との関係
- B161 児玉安正(弘前大理工)・玉置篤志(弘前大理/吉田産業) 中緯度海上の大規模な降水帯と storm track
- B162 吉兼隆生(地球フロンティア)・木村富士男(地球フロンティア/筑波大地球科学) 領域気候モデルにより再現された「SPCZ」の地形による影響について

大会第1日〔10月10日〕 C会場

()は講演者を表す。 [P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

午後(13:30 ~ 16:00)

ACE-Asia/TRACE-P I

座長：植松光夫(東大海洋研)

- C101 河村公隆・石村豊(北大低温研)他2名 アジア域から西部北太平洋への陸起源物質の大気輸送:父島におけるエアロゾルの長期観測
- C102 兼保直樹・古賀聖治(産総研) 小笠原父島における東アジアからの大気エアロゾルの流れ出しの観測(II)
- C103 松本潔(東大海洋研/科学技術振興事業団)・植松光夫(東大海洋研) ACE-Asia 集中観測期間中の地上観測網における大気エアロゾルの時空間変動
- C104 長田和雄(名大院環境)・木戸瑞佳(農工大)他4名 立山と乗鞍岳における大気エアロゾル粒子の体積濃度の時間変化—今年の春は特別か?—
- C105 三浦和彦・芦川亮(東京理大理)他7名 ACE-Asia MR01-K2 航海における大気エアロゾルの物理計測 [P]
- C106 永尾一平・田中浩(名大院環境)他1名 西部北太平洋上の DMS 分布 —「みらい」MR01K02 航海の観測結果—
- 座長：河村公隆(北大低温研)
- C107 持田隆宏・梅本延彦(北大低温研)他3名 NOAA R/V Ronald H. Brown RB01-02 航海における海洋大気エアロゾル観測:低分子ジカルボン酸の分布
- C108 加藤俊吾・松本淳(科学技術振興事業団/東大先端研)他1名 みらい MR01 - K02 航海での大気ガス成分の測定
- C109 斎藤拓也(北大低温研/科学技術振興事業団)・河村公隆(北大低温研)他6名 東アジア域における炭化水素の炭素安定同位体比の高度分布:ACE-Asia 速報
- C110 島山史郎・高見昭憲(環境研)他5名 2001年3月19-22日における東シナ海上空の大気汚染および黄砂の航空機観測 [P]
- C111 白井知子・D. R. Blake(NASDA/EORC)他11名 一酸化炭素および DMS(ジメチル硫黄)を指標とした対流圏下部における空気塊の起源の同定
- C112 近藤豊(東大先端研)・小池真(東大院理)他8名 TRACE-P 航空機観測による微量気体組成とエアロゾルの分布
- C113 北和之・近藤豊(東大先端研)他 TRACE-P で観測された東アジア域での窒素酸化物の分布と収支[P]

ACE-Asia/TRACE-P II

座長：近藤 豊(東大先端研)

- C151 宮崎雄三・近藤豊(東大先端研)他 東アジア域での窒素酸化物・エアロゾルの総観規模輸送と化学収支～2001年3-4月のTRACE-P 航空機観測～
- C152 清水厚・杉本伸夫(環境研)他2名 北京・長崎・つくばにおける小型ライダーによる対流圏エアロゾル連続観測
- C153 佐竹晋輔(九大総理工)・鶴野伊津志(九大応力研) ACE - Asia 特別観測期間におけるエアロゾルの地域分布と輸送解析
- C154 石坂隆・風岡亮(名大地球水循環)他7名 九州南方海上におけるガス・エアロゾルと CCN 濃度の関係
- C155 M. Adhikari・Y. Ishizaka(名大地球水循環)他4名 Effect of Aerosol Particles on CCN Activities over the Sea near the Southwest Islands Area in Japan.
- C156 石坂隆・風岡亮(名大地球水循環)他8名 九州南方等海上における CCN と雲粒に関する航空機観測
- C157 亀井秋秀・熊谷博(通総研)他4名 みらい MR01-K02 航海における雲レーダ観測 [P]
- 座長：日暮明子(環境研)
- C158 岡本創(東北大)・亀井秋秀(通総研)他7名 雲レーダとライダーによるアジア域における雲微物理の研究
- C159 内山明博・山崎明宏(気象研)他2名 APEX-E2/ACE-Asia 期間中に航空機観測した粒径分布
- C160 山崎明宏・内山明博(気象研)他2名 APEX-E2/ACE-Asia 期間中の宮古島での地上放射観測
- C161 佐野到・向井苑生(近大理工)他1名 APEX-E1/E2 における偏光放射計を用いたエアロゾル観測
- C162 中島孝・Yi Liu(NASDA)他5名 ACE-Asia 期間中の衛星による雲・エアロゾル観測 [P]
- C163 日暮明子(環境研)・中島映至(東大気候システム) SeaWiFSを用いた APEX 観測域におけるエアロゾル型分類
- C164 高村民雄・牛草栄介(千葉大 CEReS)他4名 雲水量と日射量から推定される有効雲粒径について

大会第1日〔10月10日〕 D会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

午後(13:30 ~ 16:00)

大気力学 I

座長：松田佳久(東大理)

- D101 村上茂教(気象研) スペクトル展開の新しい方法
- D102 富田浩文・佐藤正樹(地球フロンティア)他2名 正二十面体格子を用いた次世代全球非静力学コアの開発
- D103 伊賀啓太(九大応力研) 地衡流乱流スケーリング則の理論的係数の検討
- D104 北村祐二・松田佳久(東大理) 成層流体における乱流場の振舞い
- D105 清水祐樹(名大院理)・田中浩(名大院環境) 木星衛星エウロパにおける氷地殻と液体海洋の2層構造の数値モデル
- D106 川野元(九大総理工)・和方吉信(九大応力研) 金星大気大循環の数値シミュレーションについて
- D107 伊賀晋一・松田佳久(東大理) 数値モデルによる金星大気スーパーローテーションの解明 [P]
- D108 高木征弘・松田佳久(東大理) 金星大気の大熱潮汐波によるスーパーローテーションの減速について
- D109 山本勝(和歌山大教育)・高橋正明(東大気候システム) 金星スーパー回転における非断熱加熱の日変化の役割について
- D110 山本勝(和歌山大教育)・田中浩(名大院環境) スーパー回転の変形因子により生じる増幅波と水平運動量輸送について
- D111 谷口博・石渡正樹(北大院地球環境) 東西一様基本場に於ける慣性不安定(3) 一中立波の共鳴による解釈一 [P]
- D112 小田昌人・板野稔久(防大地球科学)他2名 台風T9609号中心部における流れの線形安定性
- D113 石渡正樹(北大院地球環境)・中島健介(九大理)他2名 全球凍結条件に関する数値実験:多重平衡解についての検討 [P]

中層大気

座長：河本 望(NASDA/EORC)

- D151 村山泰啓・大山伸一郎(通総研)他2名 アラスカとノルウェーにおける中間圏風速の比較観測
- D152 岩間陽介・堀之内武(京大宙空電波)他3名 ラジオゾンデ観測データに基づく赤道域インドネシアにおける大気重力波の研究
- D153 牛丸真司(沼津高専) 南半球成層圏の季節進行の年々変動 II
- D154 通信・放送機構 成層圏プラットフォーム運用における強風の予測 [P]
- D155 富川真弘(東大先端研)・佐藤薫(極地研) 極渦境界領域の捕捉波
- D156 河本望(NASDA/EORC) ILAS が観測した南北両半球の極渦崩壊について
- D157 林寛生・中島英彰(環境研)他3名 ILAS による観測からみた南半球極域の下部成層圏における下降流について
- D158 蟻川雅晴・高橋正明(東大気候システム)他2名 成層圏準2年周期振動に対する火山性エアロゾルの効果
- D159 岩尾航希・廣岡俊彦(九大理) 初冬に見られるヨーロッパ上空のオゾン減少について(2)
- D160 永島達也(環境研)・高橋正明(東大気候システム)他2名 北半球高緯度春季下部成層圏の低温化傾向について -化学大循環モデル実験を通じた考察-
- D161 佐藤佳宏(科学技術振興事業団/環境研)・中島英彰(環境研)他2名 ILAS により観測された極域中間圏雲の粒径推定

ポスターセッション〔10月10日〕16:10～17:30

(発表者はプログラム3ページ目の「講演の方法-ポスター発表-」をお読み下さい)

概要紹介：A会場

司会：住 明正(東大気候システム)

- P101 田口彰一(産総研) 高分解能全球大気輸送モデルの開発
- P102 田中泰宙・折戸光太郎(気象研)他3名 MRI/JMA98 GCM 結合対流圏エーロゾル化学輸送モデルの開発
- P103 河瀬祥子・香川晶子(奈良女子大理)他1名 化学ボックスモデルと流跡線を用いた成層圏大気微量成分の分布再現
- P104 安井元昭(通総研)・周紀侠(中国科学院)他3名 中国、沙坡頭における砂塵粒子層のライダー観測
- P105 三上正男・黒崎泰典(気象研) 中国タリム盆地南縁のダストストームの特徴
- P106 増田一彦・真野裕三(気象研)他4名 静止気象衛星可視データを利用した海洋上の黄砂の光学的厚さの導出
- P107 張代州(熊本県立大環境共生)・石坂隆(名大地球水循環) 雲周辺のエアロゾル粒子:日本海上における航空機観測
- P108 直江寛明・岡田菊夫(気象研)他1名 富士山頂におけるエアロゾル粒子の組成と粒径分布
- P109 渡辺幸一(環境研)・吉川哲生(東京農工大学)他4名 多摩丘陵におけるエアロゾル粒子の粒径分布
- P110 原圭一郎(極地研)・長田和雄(名大院環境)他4名 しらせ航海より得られた海洋大気中での無機臭素化合物の空間分布
- P111 白石浩一・東田直子(福岡大理)他3名 ライダーによる福岡上空での成層圏エアロゾル観測
- P112 金久博忠(気象研) Meso PV Inversion 準地衡風系への補正
- P113 清水口咲子・岩崎俊樹(東北大院理) GCMを用いた高位の季節変動について
- P114 安富奈津子・木本昌秀(東大気候システム) 北半球夏季におけるアジアモンスーン域の主要変動モード - その時間・空間発展
- P115 野口克行・今村剛(宇宙研)他3名 オゾンゾンデによる成層圏重力波の観測
- P116 大塚清敏(大林組技研)・川村宏(東北大院理)他2名 メソスケール大気モデルと鉛直1次元海洋混合層モデルとの結合モデルによる陸奥湾海面水温部分昇温現象に関する数値実験
- P117 高木敏明・和田将一(東芝)他2名 雲解像モデルの開発とその並列計算(Ⅲ)～ CReSS の気象庁 RSM データへのネスティングによる予報実験～
- P118 益子涉・室井あし(気象研)他2名 台風モデルに適した2way ネスティング手法の検討
- P119 平沢正信(気象研) 組織的降水系に伴う強雨の短時間予報の特性と修正手法(1)
- P120 篠田太郎・上田博(名大地球水循環) 対流混合層の発達過程に対する数値モデルの水平解像度の影響
- P121 田村英寿・平口博丸(電中研)他4名 並列計算機による大気・地表モデルの連動解析環境の構築 - 都市熱環境シミュレーションを例として -
- P122 石本賢一(神戸大自然)・山中大学(神戸大自然/FORSGC)他 京阪神地域における夏季日中の水平気温分布(第3報)
- P123 菅原広史(防大)・桑田直也(都立大)他2名 都市内緑地による熱環境緩和機能～冷気生成のメカニズム～
- P124 高野松美(筑波大院環境科学)・菅田誠治(環境研)他1名 中国地方における光化学大気汚染物質の変動特性
- P125 佐々木秀孝・清野直子(気象研)他2名 三宅島における気象研究所移流拡散モデルの開発
- P126 佐藤純次・佐々木秀孝(気象研)他2名 三宅島火山ガスの移流・拡散シミュレーション
- P127 清野直子・佐々木秀孝(気象研)他4名 三宅島における風向風速別地上火山ガス濃度の評価
- P128 千葉長(気象研)・村治能孝(エナジシェアリング)他4名 気象研究所移流拡散モデルによる三宅島火山ガスの拡散幅の特徴
- P129 清原康友(神戸大自然)・山中大学(神戸大自然/FORSGC)他 六甲おろしに関する対流圏下層の観測
- P130 上野健一・平内裕和(滋賀県立大環境科学)他1名 滋賀県希望が丘文化公園周辺における風況調査と風力発電の可能性について
- P131 磯部英彦(気象庁気候情報) 1961～2000年における日本の大雨強度・頻度のトレンド
- P132 石坂正昭(防災科研長岡) 新旧平年値の比較でみる日本の積雪地域の気候変化の特徴

ポスターセッション〔10月10日〕16:10～17:30

(発表者はプログラム3ページ目の「講演の方法-ポスター発表-」をお読み下さい)

概要紹介：B会場

- P133 中川清隆(上越教育大自然)・神田学(東工大院) キューボイド都市キャニオン構成面間ビューファクタの高精度推定
- P134 石田春麿(東北大理大気海洋センター)・早坂忠裕(総合地球環境学研) 不均質大気における放射伝達計算手法の開発(その2)
- P135 門崎学(総合研究大学院大)・山内恭(総合研究大学院大/極地研)他1名 南極における晴天時 NOAA 赤外2チャンネル間の輝度温度差の要因に関する考察
- P136 渡辺迎春・鈴木睦(NASDA/EORC)他7名 ODUS による対流圏粒子、SO₂観測可能性の検討
- P137 鷹野敏明・須賀弓郎(千葉大院自然科学)他8名 雲粒子観測用 94GHz FM-CW レーダーの設計開発
- P138 石原卓治・橋口浩之(京大宙空電波)他7名 赤道大気レーダー(EAR)の開発
- P139 猪飼純二・中村健治(名大地球水循環) TRMM PR と TMI による推定降雨強度の比較
- P140 荒木喬・石田祐真(弘前大理工)他2名 フラックスゲート磁力計を用いた風向計の製作
- P141 高谷美正・中里真久(気象研) Bistatic Radar における速度の観測誤差評価その4 実用的な誤差評価
- P142 内藤陽子(京大理)・伊藤文(京大総合人間)他 赤外線放射温度計を用いた雲底温度の観測
- P143 真木雅之・岩波越(防災科研)他7名 マルチパラメータレーダ、雲レーダを用いた雲・降水観測の新しい試み
- P144 櫻井俊輔・牛尾知雄(大阪府大)他1名 TRMM 搭載 LIS による全球の雷放電頻度の評価
- P145 吉田智・川崎善一郎(大阪大)他2名 雷雲のパラメタリゼーションに関する一考察
- P146 濱田篤・西憲敬(京大院理)他1名 熱帯域大規模雲クラスターの消失過程における形態的特徴
- P147 岩崎杉紀(地球フロンティア)・花土弘(通総研)他4名 95GHz 雲レーダと 13.8GHz 降雨レーダによる同時降雨観測
- P148 久保田圭・藤吉康志(北大低温研) 尾鷲沖に停滞した対流エコーの降水効率と発生発達過程
- P149 長田泰一(慶大院)・青木功(筑波大院環境科学)他2名 マイクロバーストの実験室モデル
- P150 吉原華子・藤吉康志(北大低温研)他 冬季日本海メソ対流系観測(WMO-01)で観測されたバンド状降雪雲の発達

司会：平沢尚彦(極地研)

- P151 原由紀男・中西幹郎(防大地球科学)他1名 東京都市周辺に豪雨をもたらす積乱雲の発生時の特徴(第一報)
- P152 大森浩司(東大生産研)・江守正多(環境研)他3名 東南アジア熱帯山岳地域における地形性降雨について
- P153 中村一・瀬古弘(気象研) GPS つくば稠密観測 2000: ヴァイサラゾンデ RS80 - 15G のドライ・バイアス
- P154 岩淵哲也(科学技術振興事業団/気象研)・宮崎真一(東大地震研)他1名 GEONET1000点解析: 視線遅延の気象学的利用に向けたアンテナ位相中心変動の補正
- P155 瀬古弘・中村一(気象研)他1名 トモグラフィ法の改良と豪雨の事例への適用
- P156 栢原孝浩(防災科研) 大気海洋結合モデルと大気大循環モデルにおいて再現された台風の比較
- P157 宮崎佳多(保彦)(気象衛星センター) 熱帯低気圧発生事例解析(2)
- P158 鼎信次郎・沖大幹(東大生産研)他1名 東南アジアモンスーン形成におけるチベット高原と海面水温の役割-アジアモンスーンによる降雨はなぜインドシナ周辺から開始するのか、の解明へ向けて-
- P159 田少齋(地球観測フロンティア) 気象観測データと陸面モデルによるモンゴルの熱・水収支の推定
- P160 平林由希子・瀬戸心太(東大生産研)他3名 衛星観測土壌水分の数値気候モデルへの適用手法の構築
- P161 斉藤和之(地球フロンティア)・安成哲三(地球フロンティア/筑波大地球科学) 春季ユーラシア積雪偏差に対応する全球大気場の変動
- P162 一柳鏡平(地球観測フロンティア)・山中大学(地球観測フロンティア/神戸大) インドネシアにおける降水の安定同位体比の変動
- P163 森山茂・高原光子(日大生産工) 閉鎖生態系の動態に関する研究
- P164 徐健育(地球フロンティア)・荻野谷成徳(気象研) 気温が上昇すると、大気中の水分はどう変わるか?
- P165 荒川理・鬼頭昭雄(気象研) 大気海洋間交換量の日変化が海面水温に与える影響

大会第2日〔10月11日〕 09:30～12:00

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

A 会場

降水システム III

座長：山田広幸(地球観測フロンティア)

- A201 猪上淳・川島正行(北大低温研)他3名 オホーツク海水域で発達する雲が風下の氷縁域での熱収支に及ぼす影響
- A202 猪上淳・長浜則夫(北大低温研)他 航空機観測による寒気吹き出し時の日本海上の気団変質
- A203 佐々木聰・播磨屋敏生(北大院理)他5名 立坑を用いた雲物理実験装置内で発生した雲の微物理過程(その6) - 上昇流速の影響
- A204 耿驥・山田広幸(地球観測フロンティア)他3名 2001年長江下流域における梅雨期集中観測 [P]
- A205 山田広幸・耿驥(地球観測フロンティア)他2名 2001年長江下流域における梅雨期集中観測で捉えた降水システムの特徴(速報) [P]
- A206 K. Krishna Reddy・Biao Geng(地球観測フロンティア)他2名 Wind profiler observations during the intensive field experiments on the Meiyu frontal precipitation systems in the downstream of Yangtze River in 2001 [P]
- A207 前坂剛・上田博(名大地球水循環)他2名 GAME/HUBEX98 で観測された梅雨前線内のメソγ渦の形成過程について [P]
- A208 吉崎正憲・永戸久喜(気象研)他 東シナ海・九州梅雨観測 - 2001(X-BAIU-01)の概況報告 [P]
- A209 加藤輝之(気象研) 梅雨期に豪雨をもたらす線状メソ対流系の停滞機構と低相当温位プール(Low θ pool)の存在について [P]
- A210 茂木耕作・上田博(名大地球水循環)他 梅雨期の東シナ海上で南西風場に降水システムを発達させる水蒸気前線の起源と形成過程 [P]
- A211 山岬正紀(地球フロンティア) 梅雨前線に伴うクラウドクラスターと環境風の鉛直シア
- A212 高野功(気象研) 急発達した南岸低気圧(94年2月12日)の流跡線解析
- A213 中川清隆(上越教育大自然)・岩崎博之(群馬大教育)他5名 2001年1月に新潟県上越市で観測された可降水量の時間変動

B 会場

熱帯大気 I

座長：松山 洋(都立大院理)

- B201 和田章義(気象研)・美濃寛士(気象庁数値予報) 台風-海洋結合モデルによる台風強度予報
- B202 村田昭彦・上野充(気象研) エントレインメント率の高度依存性を考慮した Arakawa-Schubert 積雲パラメタリゼーション
- B203 上野充(気象研) 鉛直シア実験で得られた渦移動と渦構造の関連
- B204 吉野純・石川裕彦(京大防災研)他1名 中緯度傾圧帯における台風の再発達過程に関する数値実験
- B205 大澤輝夫・竹山剛生(岐阜大理工)他1名 伊勢湾台風時の風の場のシミュレーション
- B206 坂井紀之(日本気象協会)・山元龍三郎(京大名誉教授)他1名 エルニーニョ年とラニーニャ年の台風活動について
- B207 板野稔久・小田昌人(防大地球科学)他1名 楕円形の眼を持つ台風の特徴について
- B208 北島尚子(気象研) 眼の大きくなった台風の構造とその環境
- B209 筆保弘徳・林泰一(京大防災研) 台風9810号に伴う Pressure dip の事例解析
- B210 三浦優利子(京大防災研) 北太平洋西部における台風のライフサイクルの調査
- B211 日向真人・池田将志(茨大院理工)他2名 熱帯大気大循環場の Lagrange の描像
- B212 松尾隆司(茨大院理工)・長谷部文雄(茨大理) SAGE II データを利用した熱帯成層圏オゾンの経年変動の解析
- B213 柏原拓史(東大院理/名大 STE 研)小池真(東大院理)他 熱帯オーストラリア域における雷活動による窒素酸化物生成とそのグローバルな影響の評価

大会第2日〔10月11日〕 09:30～12:00

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

C 会場

物質循環

座長：川上修司(NASDA/EORC)

- C201 岡崎豪(東工大)・近藤裕昭(産総研)他1名 領域大気輸送拡散モデルにおける移流スキームの検証 [P]
- C202 佐伯田鶴(東北大情報シナジー)・中澤高清(東北大院理)他1名 3次元大気輸送モデルによるメタン及び炭素同位体の数値実験
- C203 村松久史(名城大理工) 多重圏界面の統計的解析
- C204 川上修司(NASDA/EORC)・近藤豊(東大先端研)他3名 BIBLE 期間中の航空機用露点計を用いた対流圏および下部成層圏の水蒸気測定
- C205 竹川暢之(名大 STE 研)・近藤豊(東大先端研)他7名 オーストラリア北部で観測されたオゾンおよびその前駆物質の相関関係
- C206 池田響・近藤豊(東大先端研)他 オーストラリアにおける窒素酸化物分布(BIBLE-C 航空機観測速報) [P]
- C207 小池真(東大理)・近藤豊(東大先端研)他8名 1999-2000年冬季北極下部成層圏における窒素酸化物の再分配
- C208 和田誠(極地研)・猪原哲(佐賀大)他6名 南極昭和基地内陸間のエアロゾル航空機観測
- C209 忠鉄繁・澤庸介(気象研)他3名 稚内におけるオンゾンデ特別観測
- C210 森平淳志(富士通 VLSI)・長浜智生(環境研)他4名 南半球中緯度におけるミリ波分光計によるオゾン、CIO等の大気微量分子の観測
- C211 濱村翠・香川晶子(奈良女子大理)他2名 ILASを用いた成層圏大気中微量成分の解析 II.OHの見積り
- C212 香川晶子・河瀬祥子(奈良女子大理)他1名 化学ボックスモデルを用いた1997年冬/春季北極域オゾン破壊量の見積り [P]
- C213 齋藤尚子・林田佐智子(奈良女子大)他1名 流跡線解析を用いた極成層圏雲の化学組成の考察

D 会場

放射

座長：藤本敏文(気象庁環境気象)

- D201 藤本敏文・坂本尚章(気象庁環境気象)他2名 紫外域日射観測における三宅島起源火山性ガスの影響
- D202 傍島明(東北大院理)・岩淵弘信(東北大東北アジア)他1名 NOAA-AVHRRを用いた東アジア海域におけるエアロゾル変動の解析
- D203 竹村俊彦・中島映至(東大気候システム) 土壌性エアロゾルの複素屈折率 [P]
- D204 真野裕三・岡田菊夫(気象研) 中国乾燥地域のエアロゾルの形状と散乱特性
- D205 朽木勝幸・浅野正二(東北大院理大気海洋センター)他2名 雲の「日射異常吸収」をめぐるARM-JACCS 共同観測 ARESE-IIの日射収支解析
- D206 菊地信行(東北大院理大気海洋センター) 寒気の吹き出しに伴う雲の光学的厚さと雲量の推定

大気境界層

座長：大和田道雄(愛知教大)

- D207 岡村修・木村富士男(筑波大地球科学)他2名 2000年夏の関東地方における可降水量及び降水の日変動
- D208 佐藤友徳・木村富士男(筑波大地球科学)他2名 関東地方における夏季静穏日の数値シミュレーション
- D209 千葉修・高橋信年(高知大理)他1名 四国上空の雲の動態と局地風との関係
- D210 三谷勉・伊藤久徳(九大理) 北海道日高地方の風の特徴
- D211 西垣肇(大分大教育福祉)・木村彩子(大分大教育)他1名 大分市の夜間の気温分布
- D212 藤部文昭(気象研) 東京都心部における夏季高温日の湿潤化傾向
- D213 桑形恒男(農環研)・濱崎孝弘(北海道農研センター)他1名 水田水温の熱収支的な特性とそれが群落微気象におよぼす影響 [P]
- D214 近藤裕昭・三枝信子(産総研)他2名 高山測定点におけるフラックス測定値への複雑地形の影響

大会第3日〔10月12日〕 A会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 11:00)

降水システムIV

座長：久芳奈遠美(地球フロンティア)

- A301 橋本明弘・播磨屋敏生(北大院理) 対流雲の発達段階と雨滴形成過程との関係:数値実験(その2)
- A302 志村和紀(高度情報科学技術研究機構)・高橋劭(桜美林大)他1名 雲物理過程導入3次元モデルでの積雲群対流実験(第2報)
- A303 久芳奈遠美・中村晃三(地球フロンティア) 雲微物理モデルを組み込んだ雲シミュレーション(その2) - Hybrid microphysical model with multi parcels - [P]
- A304 中村晃三(地球フロンティア/東大海洋研)・斉藤和雄(気象庁数値予報)他1名 FASTEX IOP 16で観測された低気圧の雲の数値実験:その2 GCSG WG3 低気圧の雲のモデル比較実験に関連して(NHMの結果の特徴) [P]
- A305 S.-G.Park・K.Iwanami(防災科研)他3名 Comparison of Raindrop Size Distribution in Convective and Stratiform Region using Polarimetric Radar Measurements
- A306 那須野智江(地球フロンティア)・斉藤和雄(気象庁数値予報) スコールラインの3次元数値実験 - 水の微物理過程の効果について -
- A307 鈴木真一(防災科研) 東海豪雨発生時に見られたメソ α スケール擾乱

午後(14:00 ~ 17:30)

熱帯大気II

座長：西 憲敬(京大理)

- A351 増永浩彦・中島孝(NASDA/EORC)他3名 TRMM搭載 VIRS/TMIによる多波長雲観測(III):下層雲の気候学 [P]
- A352 中井専人(防災科研長岡)・高藪縁(東大気候システム) 西部太平洋域のTRMM降水強度プロファイルの日変化
- A353 中村健治(名大)・泷理子(NASDA/EORC)他4名 全球降水観測計画(GPM)について
- A354 山崎信雄(気象研) ECMWF・GAME再解析より得られた可降水量の日変化のSSM/Iとの比較
- A355 高橋清利(気象研) 熱帯海洋上における雲量半日周期及び日周期変化(再検討)
- A356 堀之内武(京大宙空電波) 熱帯の降雨の変動成分:赤外面像からの波動励起推定法の検討

- A357 内藤成規(気象海洋コンサルタント/都立大)・長澤親生(都立大) GMS赤外面像データのウェーブレット解析による季節内変動の解析
- A358 西憲敬(京大理) 熱帯域対流圏上部でみられる発散場の鉛直構造について
座長：立花義裕(地球フロンティア/東海大)
- A359 城岡竜一・久保田尚之(地球観測フロンティア)他6名 パラオ周辺域における長期気象観測計画(PALAU2001)について
- A360 久保田尚之・城岡竜一(地球観測フロンティア)他5名 PALAUにおけるモンスーンオンセット - 2001年のモンスーンオンセットについての観測速報 -
- A361 中田隆・城岡竜一(地球観測フロンティア)他5名 2機のAerosondeを用いたグアムの南西海上における対流圏下層の観測 その2
- A362 渡辺明(福島大教育)・立花義裕(東海大文明研)他17名 インドシナ半島における気象要素の時-空間代表性について
- A363 深尾昌一郎・津田敏隆(京大宙空電波)他9名 始動した赤道大気レーダー(Equatorial Atmosphere Radar;EAR) [P]
- A364 奥田俊樹・岡本典子(神戸大自然)他3名 インドネシア海洋大陸での季節内変動の南北非対称性
- A365 初鹿宏壮・山崎孝治(北大院地球環境) 熱帯域対流圏界面付近の構造と年々変動について
- A366 村田文絵・荻野慎也(神戸大自然)他12名 インドネシアにおける対流性降水雲に関する研究(第7報)
- A367 荒木龍蔵(神戸大自然)・山中大学(神戸大自然/FORSGC)他8名 インドネシア・スルボンにおける局地循環の構造について

大会第3日〔10月12日〕 B会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 11:00)

気候システムⅢ

座長：加藤内蔵進(岡山大教育)

- B301 吉田聡・遊馬芳雄(北大院理) 日本付近で急激に発達する低気圧の統計的解析(その2)
- B302 石川由紀・大和田道雄(愛知教大) 北半球における中緯度高圧帯面積の季節別経年変動の気候学的解析
- B303 櫻井麻里(名大院)・石川由紀(愛知教大)他1名 冬季における中緯度高圧帯の経年変動について
- B304 大和田春樹(東大院)・秋山祐佳里(お茶の水女子大院) 熱帯内収束帯と亜熱帯高圧帯の対応と緯度的位置の経年変動について
- B305 秋山祐佳里(お茶の水女子大院人間文化)・大和田春樹(東大院) 半球規模における高度場からみた気圧傾度の経年変動
- B306 丸石國男・石部智大(弘前大理工)他2名 盆地における降雪機構の比較研究
- B307 加藤内蔵進・岩本守靖(岡山大教育) 福井市における1980年代後半以降の日々の降雪傾向の変化(北陸平野部の例として)
- B308 白木正規・川本直樹(名古屋地方気象台)他1名 東海豪雨・名古屋の日降水量の再現期間

午後(14:00 ~ 17:30)

気候システムⅣ

座長：加藤央之(電中研)

- B351 西村照幸・大淵濟(地球フロンティア)他5名 高分解能大気大循環モデルによる気候研究にむけて
- B352 行本誠史・鬼頭昭雄(気象研)他2名 気象研究所全球大気海洋結合モデル(MRI-CGCM2)の改良 - フラックス調整の有無による比較 -
- B353 魏民・柴田清孝(気象研) Representation of the Earth Spectral Topography and Its Effect on the MRI GCM
- B354 江守正多(環境研)・沼口敦(北大院地球環境) スペクトル大気モデルへの水蒸気格子移流スキームの導入に伴う地表気温バイアスの変化とその改善
- B355 鈴木恒明・西村照幸(地球フロンティア)他1名 大気大循環モデルにおける雲のオーバーラップ効果
- B356 野田彰・八牧幸子(気象研)他1名 地球温暖化パターンの時間変化
- B357 尾瀬智昭・杉正人(気象研) 気象研気候モデルにおける熱帯降水量偏差と中高緯度の応答

- B358 門倉真二・加藤央之(電中研) CSM/RegCM 結合モデルによる気象要素の頻度分布特性

座長：江守正多(環境研)

- B359 加藤央之・門倉真二(電中研)他2名 ACACIA プロジェクトでシミュレートされた温暖化時の東アジア地域の気候変化特性
- B360 佐藤伸亮(京大院理)・岩嶋樹也(京大防災研)他1名 二酸化炭素増加時の全球の水収支 - 気象研究所大気海洋結合モデルによる実験結果 -
- B361 高藪出(気象研)・塚本修(岡山大学) 一次元陸面水文過程モデルの地表面熱収支の検証
- B362 川畑玲・坪木和久(名大地球水循環) 夏季における陸面蒸発散量の変化がアジアモンスーン域の水循環に及ぼす影響についての数値実験 [P]
- B363 仲江川敏之・杉正人(気象研) AGCMによる土壌水分偏差と水循環偏差の検討
- B364 馬淵和雄・佐藤康雄(気象研)他1名 BAIMを導入した気候モデルによるアジア域熱帯林変動に関する数値実験(Ⅱ)
- B365 Yong Luo・Yasuo Sato(気象研)他3名 Role of Adjacent Sea Surface Temperature and Soil Moisture in the 1998 and 1999 Flooding over the Yangtze-Huai River Valley
- B366 野々村敦子・SANGA-NGOIE Kazadi(三重大生物資源)他1名 アフリカ大陸の土壌水分量と植生分布との関係
- B367 岩下広和(NEDOフェロー)・三枝信子(産総研)他4名 カナダ、亜寒帯の jack pine(*Pinus banksiana* Lamb.)幼齢林における CO₂・水蒸気 flux 観測
- B368 山崎剛(東北大院理/地球フロンティア)・本谷研(地球フロンティア)他1名 積雪モデルの国際比較 SnowMIP

大会第3日〔10月12日〕 C会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 11:00)

環境気象

座長：福山 薫(三重大生物資源)

- C301 福山薫・宮谷真由子(三重大生物資源)他5名 伊勢湾と熊野灘における海水中の溶存メタン濃度の測定(Ⅲ)
- C302 福山薫・石川博司(三重大生物資源) 伊勢湾周辺のメタン濃度の分布と土地利用の関係(2)
- C303 大和田道雄(愛知教育大)・中山弘康(名大院) 名古屋市における大気汚染物質のバックグラウンド濃度について
- C304 坪田幸政(慶應高)・川嶋弘尚(慶應大理工) 交差点における大気汚染物質の動態
- C305 蒲生稔(産総研)・林正康(東京情報大)他1名 熱帯季節林における二酸化炭素収支観測
- C306 菊地勝弘・片野登(秋田県立大生物資源)他1名 白神山地のブナ林は酸性雨を中和させるのか?
- C307 野村聡(堀場製作所)・菊地勝弘(秋田県立大生物資源) 光走査型化学顕微鏡によるブナの葉の酸性雨中和実験
- C308 遠藤辰雄・高橋庸哉(北教大)他4名 降雪粒子の酸性化機構(6) - 北極域厳冬期における観測 -
- C357 岩淵弘信(東北大東北アジア) NOAA11号・14号衛星搭載 AVHRR の可視・近赤外チャンネルの校正 - 晴天海域と均質な雲を用いた新手法 -
- C358 久慈誠(奈良女子大理)・中島映至(東大気候システム) リモートセンシングデータを用いて推定された雲頂・雲底高度の検証 [P]
- C359 大内和良・佐藤晋介(通総研)他7名 衛星観測シミュレータの開発
- C360 川村宏・川合義美(東北大院理)他5名 新世代衛星観測海面水温の開発
- C361 井上豊志郎・釜堀弘隆(気象研) 雲型と相対湿度の鉛直分布の統計的關係(II) - VIRS&TMI/TRMM への応用 -
- C362 高橋暢宏・清水収司(NASDA)他7名 TRMM 軌道高度変更と降雨レーダへの影響評価
- C363 中村洋一・王駿梅(日工大工)他2名 アジア・オセアニア地域における GMS IR 画像と降水量の比較検討
- C364 沖大幹(東大生産研)・井口俊夫(通総研) レーダ放射因子と降水強度との関係式のパラメータにまつわる誤謬 [P]
- C365 真木雅之・朴相郡(防災科研)他4名 降雨強度(R)と単位距離当たりの偏波間位相差(K_{DP})の關係の雨滴粒径分布変動に対する非依存性について - 3cm 波長偏波レーダの場合 -

午後(14:00 ~ 17:30)

観測手法

座長：真木雅之(防災科研)

- C351 田平誠(愛知教育大)・深尾良夫(東大地震研)他6名 T型ラインマイクロホンを用いた微気圧振動の観測(序報)
- C352 Andreas Behrendt・Nakamura Takuji(京大宙空電波) 他2名 Daytime tropospheric temperature profiling with rotational Raman lidar [P]
- C353 酒井哲(科学技術振興事業団)・永井智広(気象研) ラマンライダーとラジオゾンデによる対流圏水蒸気分布の比較観測
- C354 栗本健治・古本淳一(京大宙空電波)他1名 MU レーダー・RASS を中心とした複合観測による水蒸気プロファイル推定法の研究
- C355 山本哲・赤枝健治(気象研)他1名 レーダーと視程計による霧の微物理量推定
- C356 熊谷博・黒岩博司(通総研)他1名 雲レーダとマイクロ波放射計による下層雲の解析 [P]
- C366 加藤美雄・ウインドプロファイラ整備・運用グループ(気象庁高層気象観測室) 気象庁におけるウインドプロファイラ観測業務の開始
- C367 小林隆久・笹岡雅宏(気象研)他1名 降水時におけるウインドプロファイラーの風観測改善手法
- C368 通信・放送機構他 成層圏プラットフォーム 風観測・予測システム [P]

大会第3日〔10月12日〕 D会場

()は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 11:00)

大気力学II

座長：中村 尚(地球フロンティア/東大理)

- D301 中島健介(九大理)・豊田英司(気象庁数値予報)他2名 熱帯大気の暖水域に対する応答 — アンサンブル水惑星実験による時間発展の抽出(統報)— [P]
- D302 水田亮・余田成男(京大理) 成層圏極渦内の混合過程と背景場との関係
- D303 榎本剛(地球フロンティア) ECMWF 再解析データにみられたシルクロード・パターン
- D304 高橋憲義・余田成男(京大理) 冬期中緯度対流圏界面付近における時間変動の様子 [P]
- D305 伊藤久徳(九大理) 環状モードと高周波擾乱
- D306 塩巻秀夫(京大理院)・寺尾徹(大阪学院大情報)他1名 南半球 Zonal flow vacillation における遷移過程
- D307 西井和晃(東大理)・中村尚(東大理/地球フロンティア) 南半球下部成層圏における準定常ロスビー波の波束の伝播特性— 1997年の事例解析—

- D359 室井ちあし(気象研) デジタルフィルターによる気象庁非静力学モデルの初期値化
- D360 田宮久一郎(気象研) アジョイント法データ同化における欠測域と場を決める規準
- D361 青梨和正(気象研) TMI 輝度温度データの数値予報モデルへの変分法を用いた同化(その3) — 降水強度の同化—
- D362 荒川隆(高度情報科学技術研究機構) 風神/CReSS における two way ネスティングの実装
- D363 原昌弘(気象研) 自動選択型 SOM を用いたニューラルネットワークの構築
- D364 Xindong PENG(日本海洋科学技術振興財団)・FengXIAO(東工大)他2名 Advection Computing with CIP in MM5V3

午後(14:00 ~ 17:30)

気象教育・気象予報

座長：室井ちあし(気象研)

- D351 高橋庸哉(北教大)・坪田幸政(慶應高) ふれあいサイエンス 2000 プログラム 「気象情報を読む:インターネット,CD-ROM,コンピュータ」の実施 [P]
- D352 藤谷泰資(イオン情報研) 平成13年(2001)芸予地震の前兆現象
- D353 野原大輔・田中博(筑波大地球科学) エルニーニョ・ラニーニャ時における現実大気の予測可能性
- D354 大気大循環研究グループ(筑波大地球科学) JMA, NWS, ECMWF 全球モデルによる週間予報精度の比較:2001年3月北半球 500hPa 高度場の事例解析
- D355 大淵清(地球フロンティア/地球変動研) 水平-鉛直解像度の組み合わせに対する AGCM ダイナミカル・コアの対流圏大循環の感度
- D356 佐藤正樹(地球フロンティア/埼玉工大) 地球フロンティア次世代モデル非静力学コアの数値スキーム
- D357 赤堀浩司・石黒貴之(名大計算理工)他3名 二重フーリエ級数展開を用いた球面上の浅水方程式の高速解法 [P]
- D358 谷貝勇・小林ちあき(気象研) 積雲によるシーラスが季節予報に与える影響について

ポスターセッション〔10月12日〕11:10～12:30

(発表者はプログラム3ページ目の「講演の方法-ポスター発表-」をお読み下さい)

概要紹介：A会場 司会：田中 博(筑波大地球科学)

- P301 高橋庸哉(北教大)・新保元康(北教大附小) 他 総合学習をサポートするホームページ『雪たんけん館』の制作
- P302 関山剛・折戸光太郎(気象研)他 3名 MRI/JMA98 GCM と結合した成層圏化学輸送モデルの開発(2)
- P303 前田高尚(産総研)・今須良一(東大気候システム) APEX E1/E2 期間の東アジア地域における大気中硫酸酸化物の分布と輸送経路
- P304 林政彦・森本京(福岡大理)他 1名 顕微ラマン分光法による個々の黄砂粒子の特性化の試み
- P305 黒崎泰典・清野直子(気象研)他 1名 タリム盆地で広域に発生するダストストーム
- P306 松本篤・ディミトリ トロスキン(名大理)他 7名 春季と夏季における自由対流圏エアロゾルの比較: 日本上空での航空機観測から
- P307 粕谷俊暢(名大 STE 研)・近藤豊(東大先端研)他 3名 上部対流圏の水粒子への硝酸の取り込み
- P308 古賀聖治・兼保直樹(産総研)他 2名 父島におけるエアロゾル粒径分布の季節変動
- P309 山本太基(気象大)・廣田道夫(気象研) 茨城県における大気メタン濃度について
- P310 渡辺幸一・野尻幸宏(環境研)他 3名 北部北太平洋上における微量気体成分(O₃、CO₂)濃度の変化特性 - 定期貨物船におけるモニタリング -
- P311 村田功・小林展隆(東北大院理)他 6名 つくばおよび陸別 FT-IR 観測にみられる極渦の影響
- P312 長谷川駿・田中博(筑波大地球科学) 太平洋ブロッキング形成期のエンストロフィーのスペクトル解析
- P313 早崎将光・田中博(筑波大地球科学) 北極振動(AO)の符号反転時における非対称性
- P314 大山伸一郎・村山泰啓(通総研)他 1名 ポーカーフラット、稚内、および山川で観測された中間圏中性風の季節変動
- P315 石井守・村山泰啓(通総研)他 5名 引きずられる大気 - 電離圏大気の運動が熱圏に与える影響について -
- P316 長澤亮二・岩崎俊樹(東北大院理)他 2名 局地気候モデルを用いたやませ時の雲形成 - 放射相互作用に関する研究
- P317 川畑拓矢・中村一(気象研) 気象庁現業用領域解析システム(RANAL)による再解析実験(第3報) - 6時間間隔と12時間間隔の予報-解析サイクルの比較 -
- P318 西垣語人(水戸地方気象台) エントレイメント安定指数 ESI とその近似 nk-index による発雷予測の検証 - 対流雲と環境との相互作用(希釈混合)により対流雲内の相当温位は保存されない -
- P319 飯塚悟・近藤裕昭(資環研) LES による山岳地形上流れの解析(第2報) 地表面粗度の違いが流れ場に及ぼす影響について
- P320 日下博幸・平口博丸(電中研) 都市の凸凹を表現するための2次元ポーラスモデルと粗度モデルの比較解析
- P321 菅原広史(防大)・成田健一(日本工大) 都市キャノピーにおける熱的粗度(Z_h)の実測
- P322 山本奈美(東大)・田宮平衡(お茶の水女子大) ヒートアイランド強度と気温日較差
- P323 大田宏和(筑波大院環境科学)・菅田誠治(環境研)他 1名 関東地方における二酸化窒素の高濃度汚染に関する研究
- P324 山本和美(筑波大生命環境科学)・田中博(筑波大地球科学) 火山灰追跡モデル(PUFF)を用いた噴煙と降灰の存在確率の推定
- P325 米谷俊彦・宮下晃一(岡山大資生研)他 4名 熱影像温度計による三次盆地の地表面と霧面の温度分布の観測(2)
- P326 小川寛子(東海大)・立花義裕(地球フロンティア)他 4名 オホーツク海高気圧の発達過程 - 海霧層による冷却効果について -
- P327 尾関竜彦(北大低温研)・藤吉康志(北大低温研/地球フロンティア) 夏の北極海上の下層雲の構造
- P328 野原大輔・村規子(筑波大地球科学)他 1名 福島県下郷町の中山風穴における夏季風穴循環の研究
- P329 原朋憲・余偉明(東北大理)他 1名 数値実験を用いた清川だしの発生機構に関する考察
- P330 大鐘卓哉(小樽市青少年科学技術館) 江戸時代に見ることができた四日市の曇気候は現代でも発生していた
- P331 飯村卓郎(筑波大院環境科学)・木村富士男(筑波大地球科学) AMeDAS データから求めた日本列島における豪雨の変化
- P332 松浦康之(愛知淑徳大文化創造)・高田宗樹(名大多元数理)他 1名 気象要素に関する時系列データを記述する数値モデル
- P333 豊田英司(気象庁数値予報) 数値データの出入力インターフェイスの内部実装による Web 分散コンピューティングの構想

ポスターセッション〔10月12日〕11:10～12:30

(発表者はプログラム3ページ目の「講演の方法-ポスター発表-」をお読み下さい)

概要紹介：B会場

- P334 古谷真海・高村民雄(千葉大 CEReS)他3名 雲カメラ(Skyview)から予想される雲量統計
- P335 青木忠生・深堀正志(気象研)他1名 偏光観測による雲・エアロゾル散乱光補正
- P336 雨宮百合子・林田佐智子(奈良女大理)他7名 ILAS及びライダーデータを用いた極域成層圏雲の解析
- P337 中里真久・永井智広(気象研)他1名 オゾン DIAL 解析アルゴリズムの改良
- P338 石井昌憲・水谷耕平(通総研)他4名 航空機搭載を目的としたコヒーレントドップラーライダーの開発②
- P339 シグメット・ジャパン 雨量計のデータで、レーダ雨量をリアルタイム補正するデータ処理ソフトウェアの開発
- P340 木下宣幸(気象研)・堀晃浩(日本気象協会) LDV を用いた霧粒計数の試み
- P341 山本哲・木下宣幸(気象研)他3名 霧の微物理測定方法の室内測定による比較検討
- P342 田中恵信(気象研)・榊原均(気象大)他1名 デュアルドップラー解析の風速精度推定
- P343 森本健志・Redy Mardiana(大阪大院)他1名 雷風観測用 VHF 波帯広帯域干渉計の開発(1) 一雷雲系の移動監視一
- P344 吉橋幸子・河崎善一郎(大阪大院)他2名 寒気移流と冬季雷活動に関する一考察(2)
- P345 牛尾知雄・岡本謙一(大阪府大)他4名 TRMM/PR・LIS による雷雲高度と放電頻度の関係
- P346 牛山朋来(地球観測フロンティア)・勝俣昌己(JAMSTEC)「みらい」MR00-K04 航海で観測された ITCZ 降水システムの数値実験
- P347 井上豊志郎(気象研) 雲型でみた積雲対流活動のライフサイクル
- P348 岩波越・真木雅之(防災科研)他4名 マルチパラメータライダーによる梅雨期の雲・降水系の鉛直上向き観測
- P349 田畑強(日大院文理)・山川修治(日大院理) 2001年6月19日に岐阜県羽島市～愛知県一宮市に発生した突風に関する総観・メソ解析
- P350 新井健一郎・藤吉康志(北大低温研)他3名 大阪平野で観測された雷雲とマイクロバースト
- P351 長浜則夫・藤吉康志(北大低温研) 寒気吹き出し時に見られる筋状雲発生初期の気流構造推定

司会：野沢 徹(環境研)

- P352 佐藤友徳・木村富士男(筑波大地球科学) 一般風と山谷風による水蒸気輸送の2次元数値シミュレーション(その2) - GPS 可降水量と高層データによる検証 -
- P353 岩淵哲也(科学技術振興事業団/気象研)・島田誠一(防災科研)他2名 GPS つくば稠密観測 2000: 二重位相差残差から計算される視線遅延残差の特性
- P354 小司禎教・青梨和正(気象研)他1名 GPS つくば稠密観測 2000: 衛星方向の水蒸気解析と WVR との比較(2)
- P355 西村昌明(静岡大)・岩淵哲也(科学技術振興事業団/気象研)他2名 GPS とラジオゾンデから推定される可降水量の相互比較
- P356 岡本典子(神戸大自然)・山中大学(神戸大自然/FORSGC)他7名 インドネシアでの GPS ゾンデ観測における対流圏及び対流圏界面付近での GPS データ受信問題について
- P357 櫻井南海子・村田文絵(神戸大自然)他3名 Sumatra 島における水平風及び降水の日周期変化について
- P358 立花義裕(東海大総合教育)・荻野慎也(神戸大自然)他3名 乾期のインドシナ半島・下部対流圏に現われる温度逆転層がモンスーン季節進行に果たす役割
- P359 広瀬正史・中村健治(名大地球水循環) 衛星搭載降雨レーダによる降雨の鉛直傾度の季節変化
- P360 荻野谷成徳(気象研) 西チベットの熱収支の季節変化と年々変動
- P361 堀 正岳・安成哲三(筑波大地球科学) 季節進行における大気と地表面状態との関係(2)
- P362 西澤慶一(電中研) 東アジアの地域気候に及ぼす硫酸塩エアロゾルの放射影響
- P363 中村織雄・岩崎俊樹(東北大院理) 植生消失による気候変化についての数値実験
- P364 村上和隆・向井俊和(名大)他4名 地球温暖化シミュレーションのための四圍エネルギー・物質循環モデルの構築
- P365 杉正人・小林ちあき(気象研) 水平分解能の異なるモデルの気候値の比較

講演者索引

<A>

Adhikari Mandira	C155
Akahori Koji(赤堀浩司)	D357
Akiyama Yukari(秋山祐佳里)	B305
Amemiya Yuriko(雨宮百合子)	P336
Aoki Tadao(青木忠生)	P335
Aonashi Kazumasa(青梨和正)	A152
Aonashi Kazumasa(青梨和正)	D361
Arai Kenichiro(新井健一郎)	P350
Arakawa Osamu(荒川理)	P165
Arakawa Takashi(荒川隆)	D362
Araki Ryuzo(荒木龍蔵)	A367

Behrendt Andreas	C352
------------------	------

<C>

Chiba Yukiko(千葉ゆきこ)	A155
Chubachi Shigeru(忠鉢繁)	C209
Chuda Takashi(中田隆)	A361

<D>

Dairaku Koji(大楽浩司)	P152
--------------------	------

<E>

Egawa Kuniko(江川晋子)	B113
Eito Hisaki(永戸久喜)	A105
Emori Seita(江守正多)	B354
Endoh Tatsuo(遠藤辰雄)	C308
Enomoto Takeshi(榎本剛)	D303

<F>

Fudeyasu Hironori(筆保弘徳)	B209
Fujibe Fumiaki(藤部文昭)	A163
Fujibe Fumiaki(藤部文昭)	D212
Fujimoto Toshifumi(藤本敏文)	D201
Fukao Shoichiro(深尾昌一郎)	A363
Furuya Masaumi(古谷真海)	P334

<G>

Gamo Minoru(蒲生稔)	C305
Geng Biao(耿驃)	A204

<H>

Haginoya Shigenori(萩野谷成徳)	P360
Hamada Atsushi(濱田篤)	P146
Hamamura Midori(濱村翠)	C211
Hara Keiichiro(原圭一郎)	P110
Hara Masahiro(原昌弘)	D363
Hara Tomonori(原朋憲)	P329
Hara Yukio(原由紀男)	P151
Hasegawa Akira(長谷川聡)	P312
Hasegawa Koichi(長谷川晃一)	A107

Hashimoto Akihiro(橋本明弘)	A301
Hatakeyama Shiro(畠山史郎)	C110
Hatsushika Hiroaki(初鹿宏壮)	A365
Hayasaki Masamitsu(早崎将光)	P313
Hayashi Hiroo(林寛生)	D157
Hayashi Masahiko(林政彦)	P304
Hayashi Syugo(林修吾)	A106
Higurashi Akiko(日暮明子)	C163
Hinata Naoto(日向直人)	B211
Hirabayashi Yukiko(平林由希子)	P160
Hirasawa Masanobu(平沢正信)	P119
Hirasawa Naohiko(平沢尚彦)	B105
Hirose Masafumi(広瀬正史)	P359
Hirota Michio(廣田道夫)	P309
Honda Meiji(本田明治)	B106
Hori Masatake(堀正岳)	P361
Horinouchi Takeshi(堀之内武)	A356

<I>

Ichiyanagi Kimpei(一柳錦平)	P162
Iga Keita(伊賀啓太)	D103
Iga Shinichi(伊賀晋一)	D107
Iimura Takuro(飯村卓郎)	P331
Iizuka Satoru(飯塚悟)	P319
Ikai Junji(猪飼純二)	P139
Ikeda Akihiro(池田明弘)	A110
Ikeda Hibiki(池田響)	C206
Inoue Jun(猪上淳)	A201
Inoue Jun(猪上淳)	A202
Inoue Toshiro(井上豊志郎)	C361
Inoue Toshiro(井上豊志郎)	P347
Ishida Haruma(石田春磨)	P134
Ishida Sachinobu(石田祐宣)	P140
Ishihara Takuji(石原卓治)	P138
Ishii Mamoru(石井守)	P315
Ishii Shoken(石井昌憲)	P338
Ishikawa Hiroshi(石川博司)	C302
Ishikawa Yuki(石川由紀)	B302
Ishimoto Kenichi(石本顕一)	P122
Ishiwatari Masaki(石渡正樹)	D113
Ishizaka Masaaki(石坂雅昭)	P132
Ishizaka Yutaka(石坂隆)	C154
Isobe Hidehiko(磯部英彦)	P131
Itano Toshihisa(板野稔久)	B207
Itoh Hisanori(伊藤久徳)	D305
Itsui Minoru(伍井稔)	A111
Iwabuchi Hironobu(岩淵弘信)	C357
Iwabuchi Tetsuya(岩淵哲也)	P154
Iwabuchi Tetsuya(岩淵哲也)	P353
Iwama Yosuke(岩間陽介)	D152
Iwanami Koyuru(岩波越)	P348
Iwao Koki(岩尾航希)	D159
Iwasaki Hiroyuki(岩崎博之)	A161

Iwasaki Suginori(岩崎杉紀)	P147	Kumagai Hiroshi(熊谷博)	C157
Iwashita Hirokazu(岩下広和)	B367	Kurimoto Kenji(栗本健治)	C354
Iwata Toru(岩田徹)	A157	Kuroda Yuhji(黒田友二)	B104
		Kurosaki Yasunori(黒崎泰典)	P305
<K>		Kusaka Hiroyuki(日下博幸)	P320
Kadokura Shinji(門倉真二)	B358	Kusunoki Kenichi(楠研一)	A112
Kadosaki Gaku(門崎学)	P135	Kuwagata Tsuneo(桑形恒男)	D213
Kagawa Akiko(香川晶子)	C212		
Kanae Shinjiro(鼎信次郎)	P158	<L>	
Kanai Hidemoto(金井秀元)	A162	Luo Yong	B365
Kanehisa Hirotada(金久博忠)	P112		
Kaneyasu Naoki(兼保直樹)	C102	<M>	
Kashihara Takushi(柏原拓史)	B213	Mabuchi Kazuo(馬淵和雄)	B364
Kasuya Toshinobu(柏谷俊暢)	P307	Maeda Takahisa(前田高尚)	P303
Kato Hisashi(加藤央之)	B359	Maesaka Takeshi(前坂剛)	A207
Kato Kuranoshin(加藤内蔵進)	B307	Maitani Toshihiko(米谷俊彦)	P325
Kato Shungo(加藤俊吾)	C108	Maki Masayuki(真木雅之)	C365
Kato Teruyuki(加藤輝之)	A209	Maki Masayuki(真木雅之)	P143
Kato Yoshio(加藤美雄)	C366	Mano Yuzo(真野裕三)	A158
Kawabata Akira(川畑玲)	B362	Mano Yuzo(真野裕三)	D204
Kawabata Takuya(川畑拓矢)	P317	Mashiko Wataru(益子渉)	P118
Kawakami Shuji(川上修司)	C204	Masuda Kazuhiko(増田一彦)	P106
Kawamoto Nozomi(河本望)	D156	Masunaga Hirohiko(増永浩彦)	A351
Kawamura Hiroshi(川村宏)	C360	Matsuki Atsushi(松木篤)	P306
Kawamura Kimitaka(河村公隆)	C101	Matsumoto Kiyoshi(松本潔)	C103
Kawamura Ryuichi(川村隆一)	B153	Matsuo Ryuji(松尾隆司)	B212
Kawano Gen(川野元)	D106	Matsuura Yasuyuki(松浦康之)	P332
Kawase Sachiko(河瀬祥子)	P103	Mikami Masao(三上正男)	P105
Kayahara Takahiro(栢原孝浩)	P156	Mitani Tsutomu(三谷勉)	D210
Kazaoka Ryo(風岡亮)	C156	Miura Kazuhiko(三浦和彦)	C105
Kiguchi Masashi(木口雅司)	B155	Miura Yuriko(三浦優利子)	B210
Kikuchi Katsuhiko(菊地勝弘)	C306	Miyatani Mayuko(宮谷真由子)	C301
Kikuchi Nobuyuki(菊地信行)	D206	Miyazaki Kohta(宮崎佳多)	P157
Kimura Noriaki(木村詞明)	B102	Miyazaki Yuzo(宮崎雄三)	C151
Kinoshita Nobuyuki(木下宣幸)	P340	Mizukoshi Mitsuharu(水越允治)	B157
Kita Kazuyuki(北和之)	C113	Mizuta Ryo(水田亮)	D302
Kitabatake Naoko(北畠尚子)	B208	Mochida Michihiro(持田陸宏)	C107
Kitamura Yuji(北村祐二)	D104	Morihiro Atsushi(森平淳志)	C210
Kiyohara Yasutomo(清原康友)	P129	Morimoto Takeshi(森本健志)	P343
Kobayashi Fumiaki(小林文明)	A160	Moriyama Shigeru(森山茂)	P163
Kobayashi Takahisa(小林隆久)	C367	Moteki Qoosaku(茂木耕作)	A210
Kodama Yasumasa(児玉安正)	B161	Mura Noriko(村規子)	P328
Kodera Kunihiko(小寺邦彦)	B108	Muraji Yoshitaka(村治能孝)	P128
Koga Seizi(古賀聖治)	P308	Murakami Kazutaka(村上和隆)	P364
Koike Katsuyuki(小池克征)	A109	Murakami Masataka(村上正隆)	A102
Koike Makoto(小池真)	C207	Murakami Shigenori(村上茂教)	D101
Kondo Hiroaki(近藤裕昭)	D214	Muramatsu Hisafumi(村松久史)	C203
Kondo Yutaka(近藤豊)	C112	Murata Akihiko(村田昭彦)	B202
Kuba Naomi(久芳奈遠美)	A303	Murata Fumie(村田文絵)	A366
Kubota Hisayuki(久保田尚之)	A360	Murata Isao(村田功)	P311
Kubota Kei(久保田圭)	P148	Murayama Yasuhiro(村山泰啓)	D151
Kubota Takuji(久保田拓志)	B110	Muroi Chjashi(室井ちあし)	D359
Kuchiki Katsuyuki(朽木勝幸)	D205		
Kuji Makoto(久慈誠)	C358	<N>	
Kumagai Hiroshi(熊谷博)	C356	Nagahama Norio(長浜則夫)	P351

Nagano Yoshinori(永野良紀)	B160	Ota Hirokazu(大田宏和)	P323
Nagao Ippei(永尾一平)	C106	Otsuka Kiyotoshi(大塚清敏)	P116
Nagasawa Ryouji(長澤亮二)	P316	Owada Haruki(大和田春樹)	B304
Nagashima Tatsuya(永島達也)	D160	Owada Michio(大和田道雄)	C303
Nagata Taiichi(長田泰一)	P149	Oyama Shinichiro(大山伸一郎)	P314
Naito Shigenori(内藤成規)	A357	Ozeki Tatsuhiko(尾関竜彦)	P327
Naito Yoko(内藤陽子)	P142		
Nakaegawa Tosiya(仲江川敏之)	B363	<P>	
Nakagawa Kiyotaka(中川清隆)	A213	Park SangGoon(朴相郡)	A305
Nakagawa Kiyotaka(中川清隆)	P133	Peng XinDong(彭新東)	D364
Nakai Sento(中井専人)	A352		
Nakajima Kensuke(中島健介)	D301	<R>	
Nakajima Takashi(中島孝)	C162	Reddy K.Krishna	A206
Nakamura Hajime(中村一)	P153	Rikiishi Kunio(力石國男)	B306
Nakamura Kozo(中村晃三)	A304		
Nakamura Orio(中村織雄)	P363	<S>	
Nakamura Youichi(中村洋一)	C363	Saeki Tazu(佐伯田鶴)	C202
Nakazato Masahisa(中里真久)	P337	Saito Kazuyuki(斎藤和之)	P161
Naoe Hiroaki(直江寛明)	P108	Saito Naoko(齋藤尚子)	C213
Nasuno Tomoe(那須野智江)	A306	Saito Takuya(斎藤拓也)	C109
Ninagawa Masaharu(蜷川雅晴)	D158	Sakai Tetsu(酒井哲)	C353
Ninomiya Kozo(二宮洗三)	B158	Sakai Toshiyuki(坂井紀之)	B206
Nishi Noriyuki(西憲敬)	A358	Sakurai Mari(櫻井麻里)	B303
Nishigaki Hajime(西垣肇)	D211	Sakurai Namiko(櫻井南海子)	P357
Nishigaki Tsuguhito(西垣語人)	P318	Sakurai Shunsuke(櫻井俊輔)	P144
Nishii Kazuaki(西井和晃)	D307	Sano Itaru(佐野到)	C161
Nishimura Masaaki(西村昌明)	P355	Sano Tetsuya(佐野哲也)	A159
Nishimura Teruyuki(西村照幸)	B351	Sasaki Akira(佐々木聰)	A203
Nishizawa Keiichi(西澤慶一)	P362	Sasaki Hidetaka(佐々木秀孝)	P125
Noda Akira(野田彰)	B356	Satake Shinsuke(佐竹晋輔)	C153
Noguchi Katsuyuki(野口克行)	P115	Sato Junji(佐藤純次)	P126
Nohara Daisuke(野原大輔)	D353	Sato Nobuaki(佐藤伸亮)	B360
Nomura Satoshi(野村聡)	C307	Sato Tomonori(佐藤友徳)	D208
Nonomura Atsuko(野々村敦子)	B366	Sato Tomonori(佐藤友徳)	P352
		Sato Yoshihiro(佐藤佳宏)	D161
<O>		Satoh Masaki(佐藤正樹)	D356
Oda Masahito(小田昌人)	D112	Satutani Taisuke(薩谷泰資)	D352
Ogawa Hiroko(小川寛子)	P326	Seino Naoko(清野直子)	P127
Ogi Masayo(小木雅世)	B101	Sekiyama Tsuyoshi(関山剛)	P302
Ohfuchi Wataru(大淵済)	D355	Seko Hiromu(瀬古弘)	P155
Ohgane Takuya(大鐘卓哉)	P330	Shimizu Atsushi(清水厚)	C152
Ohigashi Tadayasu(大東忠保)	A104	Shimizu Shuji(清水収司)	C362
Ohsawa Teruo(大澤輝夫)	B205	Shimizu Yuuki(清水祐樹)	D105
Okamoto Hajime(岡本創)	C158	Shimizuguchi Sakiko(清水口咲子)	P113
Okamoto Noriko(岡本典子)	P356	Shimura Kazunori(志村和紀)	A302
Okamura Osamu(岡村修)	D207	Shinoda Taro(篠田太郎)	A151
Okazaki Takeshi(岡崎豪)	C201	Shinoda Taro(篠田太郎)	P120
Oki Riko(沖理子)	A353	Shiogama Hideo(塩竈秀夫)	D306
Oki Taikan(沖大幹)	C364	Shirai Tomoko(白井知子)	C111
Okuda Toshiki(奥田俊樹)	A364	Shiraishi Kouichi(白石浩一)	P111
Ookubo Atushi(大久保篤)	A108	Shiraki Masanori(白木正規)	B308
Oouchi Kazuyoshi(大内和良)	C359	Shirooka Ryuichi(城岡竜一)	A359
Orikasa Narihiro(折笠成宏)	A113	Shoji Yoshinori(小司禎教)	P354
Osada Kazuo(長田和雄)	C104	Sigmet Japan(シグメットジャパン)	P339
Ose Tomoaki(尾瀬智昭)	B357	Sobajima Akira(傍島明)	D202

- | | | | |
|---|------|--------------------------|------|
| Sugawara Hirofumi(菅原広史) | P123 | Ushimaru Shinji(牛丸真司) | D153 |
| Sugawara Hirofumi(菅原広史) | P321 | Ushio Tomoo(牛尾知雄) | P345 |
| Sugi Masato(杉正人) | P365 | Ushiyama Tomoki(牛山朋来) | P346 |
| Sugimoto Yukari(杉本ゆかり) | A103 | | |
| Suzuki Shinichi(鈴木真一) | A307 | <W> | |
| Suzuki Tsuneaki(鈴木恒明) | B355 | Wachi Takaaki(和智崇晃) | B109 |
| <T> | | Wada Akiyoshi(和田章義) | B201 |
| Tabata Dan(田畑弾) | P349 | Wada Eiko(和田英子) | A154 |
| Tachibana Yoshihiro(立花義裕) | P358 | Wada Makoto(和田誠) | C208 |
| Taguchi Shoichi(田口彰一) | P101 | Watanabe Akira(渡辺明) | A362 |
| Tahira Makoto(田平誠) | C351 | Watanabe Koichi(渡辺幸一) | P109 |
| Taikidaijyunken Kenkyu group(大気大循環研究グループ) | D354 | Watanabe Koichi(渡辺幸一) | P310 |
| Takagi Masahiro(高木征弘) | D108 | Watanabe Masaharu(渡辺征春) | P136 |
| Takaki Toshiaki(高木敏明) | P117 | Wei Min(魏民) | B353 |
| Takahashi Kiyotoshi(高橋清利) | A355 | <X> | |
| Takahashi Nobutoshi(高橋信年) | D209 | Xu Jianqing(徐健青) | P164 |
| Takahashi Noriyoshi(高橋憲義) | D304 | <Y> | |
| Takahashi Rie(高橋里枝) | B156 | Yagai Isamu(谷貝勇) | D358 |
| Takahashi Tsuneya(高橋庸哉) | D351 | Yamada Hiroyuki(山田広幸) | A205 |
| Takahashi Tsuneya(高橋庸哉) | P301 | Yamamoto Akira(山本哲) | C355 |
| Takamura Tamio(高村民雄) | C164 | Yamamoto Akira(山本哲) | P341 |
| Takano Isao(高野功) | A212 | Yamamoto Kazumi(山本和美) | P324 |
| Takano Kiyoharu(高野清治) | B111 | Yamamoto Masaru(山本勝) | D109 |
| Takano Matsumi(高野松美) | P124 | Yamamoto Masaru(山本勝) | D110 |
| Takano Toshiaki(鷹野敏明) | P137 | Yamamoto Nami(山本奈美) | P322 |
| Takaya Yoshimasa(高谷美正) | P141 | Yamane Shozo(山根省三) | B107 |
| Takayabu Izuru(高藪出) | B361 | Yamasaki Masanori(山岬正紀) | A211 |
| Takayabu Yukari(高藪縁) | B154 | Yamazaki Akihiro(山崎明宏) | C160 |
| Takegawa Nobuyuki(竹川暢之) | C205 | Yamazaki Nobuo(山崎信雄) | A354 |
| Takemura Toshihiko(竹村俊彦) | D203 | Yamazaki Takeshi(山崎剛) | B368 |
| Tamiya Kyuichiro(田宮久一郎) | D360 | Yasui Motoaki(安井元昭) | P104 |
| Tamura Hidetoshi(田村英寿) | P121 | Yasutomi Natsuko(安富奈津子) | P114 |
| Tanaka Hiroshi(田中博) | B103 | Yoshida Akira(吉田聡) | B301 |
| Tanaka Taichu(田中泰宙) | P102 | Yoshida Satoru(吉田智) | P145 |
| Tanaka Yoshinobu(田中恵信) | P342 | Yoshihara Hanako(吉原華子) | P150 |
| Taniguchi Hiroshi(谷口博) | D111 | Yoshihashi Sachiko(吉橋幸子) | P344 |
| Teshiba Michihiro(手柴充博) | A156 | Yoshikane Takao(吉兼隆生) | B162 |
| Tian Shaofen(田少奮) | P159 | Yoshino Jun(吉野純) | B204 |
| Tokenaga Hiroki(時長宏樹) | B151 | Yoshizaki Masanori(吉崎正憲) | A101 |
| Tomikawa Yoshihiro(冨川善弘) | D155 | Yoshizaki Masanori(吉崎正憲) | A208 |
| Tomita Hirofumi(冨田浩文) | D102 | Yukimoto Seiji(行本誠史) | B352 |
| Tomita Tomohiko(冨田智彦) | B159 | <Z> | |
| Toyoda Eizi(豊田英司) | P333 | Zhang Daizhou(張代州) | P107 |
| Tsubota Yukimasa(坪田幸政) | C304 | | |
| Tsushin・Housou Kikou(通信・放送機構) | C368 | | |
| Tsushin・Housou Kikou(通信・放送機構) | D154 | | |
| <U> | | | |
| Uchiyama Akihiro(内山明博) | C159 | | |
| Ueda Hiroaki(植田宏昭) | B112 | | |
| Ueda Hiroaki(植田宏昭) | B152 | | |
| Uematsu Akihisa(植松明久) | A153 | | |
| Ueno Kenichi(上野健一) | P130 | | |
| Ueno Mitsuru(上野充) | B203 | | |